

第6回くらす部会会議録

日 時	2015年3月18日(水) 13:30~15:00
場 所	地域連携交流施設 2階 会議室
出席者	西野英三郎、加藤和子、橋本俊彦、村田啓子、藤尾成子、窪田康子、内海貴美子、中野操、小林知容、濱口直哉、政本和子、山口郁代、
テーマ	1、本日参加メンバー 2、協議課題 3、その他 4、次回開催日の調整
内容	<p>1、参加メンバー：12名</p> <p>2、協議課題</p> <p>○避難所運営訓練(蓮池小学校区):平成27年2月22日(日) 参加者28名</p> <p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書くことが多かった。もっとスムーズにできたら良かった ・「いろいろな参加者がいる」と声かけ(スピーカー等)があれば良かった ・不都合は特になかったが、「こんな訓練だったんだ」と残念な気がした ・講演会は皆で聞ければ良かった ・情報の伝達(ハンドマイク1本)では伝わらない ・トリアージでプライバシーの配慮がない ・ラボの活動が出来なかった ・細かい介助の方法を伝える時間がなかった ・とっさに行く時の荷物を持って行くべきだった →荷物の中を見せ合ってはどうか ・人を動かすのが行政で、自治会は動く必要がある ・自治会の人がどういった話をしているのか分からなかった ・視覚の情報伝達が必要ではないか <p>○今年度の振り返り及び来年度の課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎今年度の振り返り(推進会議での報告資料を確認) ◎来年度の課題の検討 <p>「相談支援体制づくり」</p> <p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「チャート」を作る→シンプルに1枚にする ・相談の啓発・配布 ・役場の方から情報を用紙にして渡してもらう ・かけはし(本人像)の活用 ・親の情報はすごいので、活かす→知らない人や相談員など ・計画相談の使い方・・・播磨町に必要なものは? ・支援者側のつながり 連携マップ作り

- ・社会資源の活用（包括・ケアマネを含む）
- ・高齢者（介護保険）へのつなぎ
- ・相談支援を使っている側の意見を聞く 知らない人たちに知ってもらおう
- ・福祉のしおりの改正（Q&A、窓口、つながりフローチャート）
- ・緊急コール
- ・内容別相談窓口なのか、一本化してあとにつないでくれるのか？

検討

- ・情報の整理・広報の方法
- ・広報の保存版があったらいいのではないか
- ・シルバーハンドブックみたいなものはどうか
- ・回覧版で回してもらってはどうか
- ・社協「ゆう&あい」に掲載は可能か

「共同生活のあり方」

意見

- ・家やマンションを借り上げて、お泊りの訓練やヘルパーの使い方など知る機会を作る必要があるのではないか
- ・エバーホテル等の活用
- ・ライフステージが変わっても転居しなくても良い方法は？
（地域で暮らせる、親亡き後も暮らせる、働きながら暮らせる、医療のサポート）
- ・体験を続ける
- ・GHのイメージを持てる取り組み（見学・GH体験談など）
- ・GH立ち上げの動きが足踏み状態である
→どんな人がどのくらいのGHを必要としているのか知る
- ・施設の数・場所・入所の確実性
- ・職員の数と設備（配慮）を知る
- ・GHの立ち上げに向けて何ができるか、関心のある人を巻き込む。具体化していく
- ・新しいGHの見学会・運営面の勉強

「災害時の地域連携と避難システム作り」

意見

- ・命を守る方法をまずは知る それから避難を考える
- ・避難訓練の継続と参加（人集め）自分ごとにするように
→事前の打合せ、目的をしっかりと伝え当日の訓練を行う
→テーマを絞る
- ・避難者中心として組織作り
- ・自助とは
→電動車いすの電気確保、酸素ボンベなど、必要な物は何か
→どのように待機すべきか、助けを求める術は
- ・家からの移動訓練、対応・対策の検討

◎来年度のスケジュール検討

- ・見学会・お泊り会は継続。日程はくらすチームで検討

- ・避難訓練は、引き続き参加予定

3.その他

○そだつ部会

- ・第2回「かけはし書き方教室」平成27年2月18日(水) 10:00~12:00 参加者 11名

○推進会議及び全体研修会:平成27年2月27日(金) 9:30~12:15

- ・推進会議 参加者 29名(傍聴席含む)
- ・全体研修会 参加者 37名

○来年度くらす部会参加者確認について

部会参加依頼文配布

提出締切 4月8日(水)

4. 次回開催日の調整

H27年4月20日(月) 13:30~15:00 地域連携交流施設